

40年後の未来へ 福島第一原発の今

〈 原発事故 海水リアルタイムモニター 〉

NHKニュース
NHK「かぶん」ブログ

東京電力 福島第一原発事故 関連ニュース

[ニュース一覧を見る](#) [トップに戻る](#)

3月11日のニュース

原発事故 放射性物質の放出量は

(3月11日5時07分)

大量の放射性物質が放出され、世界最悪レベルとなった5年前の東京電力・福島第一原子力発電所の事故。外部に放出された放射性物質の量について、東京電力は事故の翌年、原発周辺で測ったデータやシミュレーションを基に試算を公表しています。

それによりますと、震災発生翌日の平成23年3月12日から3月31日までの間に放出されたヨウ素131と、セシウム137は合わせて90京ベクレルとみられるとしています。これはチェルノブイリ原発事故で放出された放射性物質の17%余りに当たりますが、翌月の4月の放出量は4兆ベクレルと、当初の1000分の1以下に減ったと推定しています。

その後も放射性物質の放出量の低下傾向は続いていますが、事故から5年たった現在も、完全になくなったわけではありません。東京電力が原発周辺での観測を基に計算した1号機から4号機の原子炉建屋からの放出量は、いずれも3月の時点の平均で、事故の翌年には毎時340万ベクレル、2年後には毎時290万ベクレル、3年後には毎時130万ベクレル、4年後には毎時120万ベクレルとなっていて、直近のこし1月の時点でも毎時53万ベクレル未満の放出が続いています。

一方で東京電力は、放射性物質の放出量が減ったことで、原発の敷地境界にとどまり続けた場合の年間の被ばく線量は、1.4マイクロシーベルト未満に抑えられているとしています。

3月11日のニュース一覧

[福島第一原発 廃炉完了に最長40年](#) (3月11日5時18分)

[福島第一原発 今も汚染水が課題](#) (3月11日5時17分)

[福島第一原発から半径80キロ 放射線量65%減少](#) (3月11日5時14分)

[原発事故 放射性物質の放出量は](#) (3月11日5時07分)

[福島第一原発事故 原子力政策に大きな影響](#) (3月11日5時06分)

過去のニュースはこちら

月を選んでください▼

2月		2016年3月				4月
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

※日付をクリックしてください



ご意見・お問い合わせ | NHKにおける個人情報保護について | 放送番組と著作権 | NHKオンライン利用上の注意